

件名	新燃料及び使用済燃料の輸送計画 (平成24年度年間輸送計画)
通報日	平成24年3月29日
概要	<p>柏崎刈羽原子力発電所平成24年度燃料（新燃料および使用済燃料）の輸送計画は別紙のとおり。</p> <p>別紙「柏崎刈羽原子力発電所 平成24年度燃料輸送計画」</p>

柏崎刈羽原子力発電所 平成24年度燃料輸送計画

平成24年 3月27日
東京電力(株)
柏崎刈羽原子力発電所

1. 新燃料輸送計画

(1) 輸送予定数量、時期

No.	ユニット名	輸送予定数量	搬出元	輸送予定時期	備考
1	1号機	232体	原子燃料工業(株)	第1四半期	
合計		232体			

(注) 輸送予定数量、輸送予定時期は変更になることがあります。

(2) 輸送方法

発電所までトラックにより陸上輸送します。

(3) 輸送における安全対策等

- ・新燃料は、国の技術基準に適合した専用の容器に収納し、輸送します。
- ・輸送にあたっては、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」等の関係法令を厳守し、輸送隊列を編成のうえ、常時安全を確認しながら整然とした運行を実施します。
- ・輸送物の放射線量は、法令基準値を十分下回っており、問題のないものですが、放射線の厳格管理を図るため、放射線技術者が同行します。

2. 使用済燃料輸送計画

(1) 輸送予定数量、時期

No.	ユニット名	輸送予定数量	搬出先	輸送予定時期	備考
1	6号機	38体	日本原燃(株)	第3四半期	
合計		38体			

(注) 輸送予定数量、輸送予定時期は変更になることがあります。

(2) 輸送方法

船舶による海上輸送と車両による陸上輸送を行います。

(3) 輸送における安全対策等

- ・使用済燃料は、国の技術基準に適合した専用の容器に収納し、輸送します。
- ・輸送にあたっては、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」、「船舶安全法」等の関係法令を厳守し、常時安全を確認しながら実施します。
- ・輸送物の放射線量は、法令基準値を十分下回っており、問題のないものですが、放射線の厳格管理を図るため、放射線技術者が同行します。

3. その他

3. 1 使用済燃料号機間輸送計画

(1) 使用済燃料号機間輸送計画はありません。

参考1 柏崎刈羽原子力発電所 平成23年度燃料輸送実績

参考2 BWR用新燃料輸送物全体図(例)

参考3 新燃料輸送隊列(例)

参考4 使用済燃料用輸送物全体図

以上

柏崎刈羽原子力発電所 平成23年度燃料輸送実績

1. 新燃料輸送実績

(1) 輸送数量、時期

No.	ユニット名	輸送数量	搬出元	輸送日	備考
1	5号機	196体	(株)グローバル・ニュークリア・ フュエル・ジャパン	平成23年10月17日	取替用燃料
2	6号機	186体	(株)グローバル・ニュークリア・ フュエル・ジャパン	平成23年11月16日	取替用燃料
合計		382体			

(2) 輸送車両の線量当量率測定結果

(単位：マイクロシーベルト/時)

No.	ユニット名	測定場所		
		車両表面	車両表面から1m	運転席
1	5号機	1.1以下	5以下	1未満
2	6号機	1.2以下	5以下	1未満

(注) ・測定値は発電所到着段階で測定したものの最大値を記載

・線量当量率の法令の基準値

車両表面 2000マイクロシーベルト/時

車両表面から1m 100マイクロシーベルト/時

運転席 20マイクロシーベルト/時

2. 使用済燃料輸送実績

(1) 輸送数量、時期

No.	ユニット名	輸送数量	搬出先	輸送日	備考
1	1号機	152体	日本原燃(株)	平成24年3月20日	
合計		152体			

(2)使用済燃料輸送容器の線量当量率測定結果

(単位：マイクロシーベルト/時)

No.	ユニット名	測定場所	
		容器表面	容器表面から1m
1	1号機	8以下	3未満

- (注) ・測定値は発電所搬出前の検査にて測定したものの最大値を記載
・線量当量率の法令の基準値
容器表面 2000マイクロシーベルト/時
容器表面から1m 100マイクロシーベルト/時

3. その他

3. 1 使用済燃料号機間輸送実績

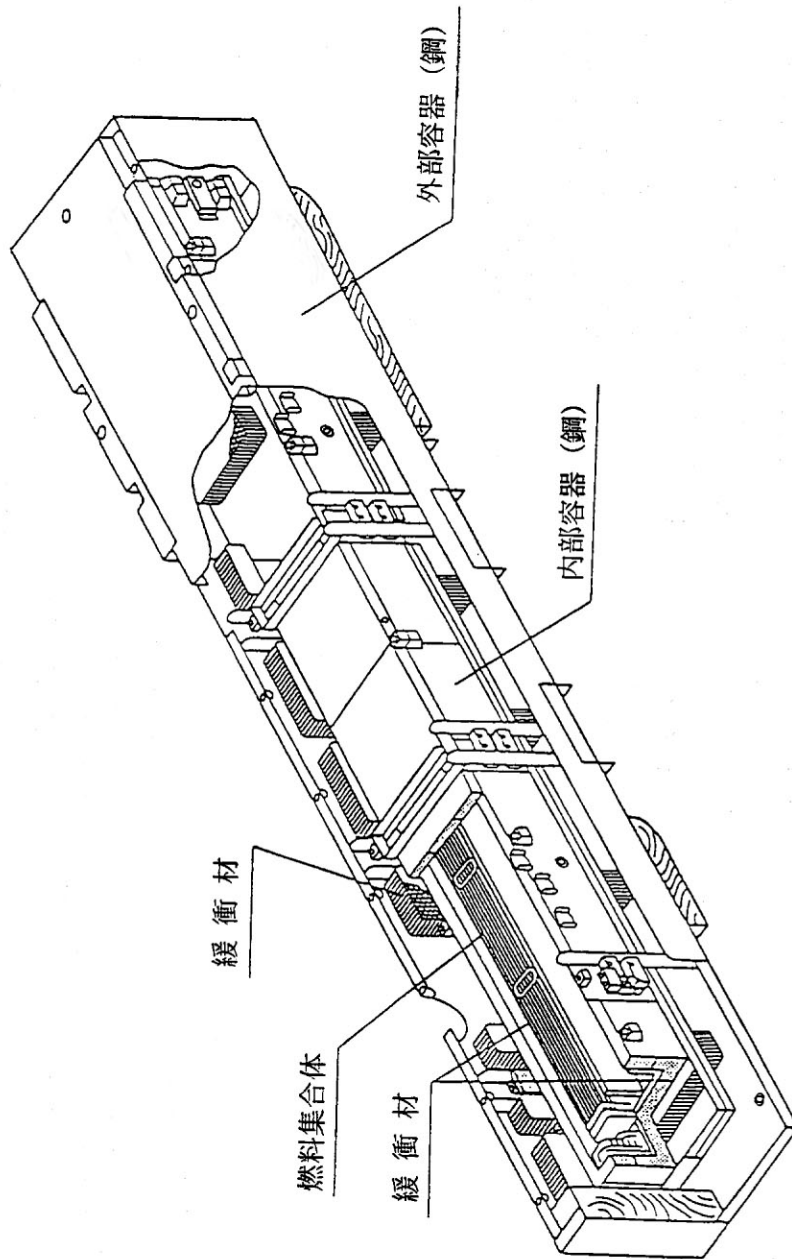
(1)輸送数量、時期

No.	ユニット名(搬出元→搬入先)	予定数量	輸送日	備考
1	1号機 → 6号機	152体 (38体×4回)	平成23年3月24日 平成23年4月5日 平成23年4月15日 平成23年4月26日	
合計		152体		

以上

新燃料の放射線はきわめて弱く、また、燃料集合体は耐熱性、密封性にたいへん優れています。これを頑丈で、衝撃に十分耐えられる輸送容器に

収納して輸送します。新燃料の輸送容器は、図のような構造になっています。



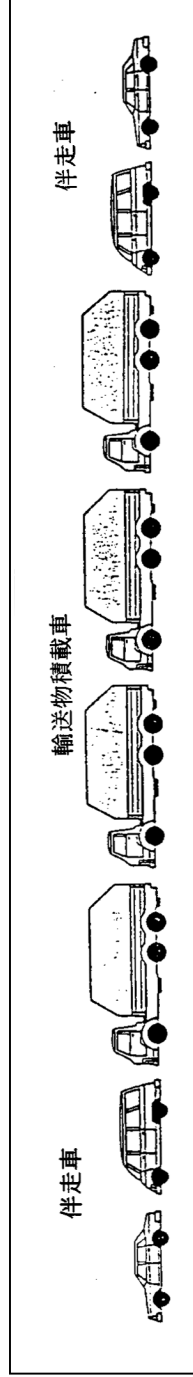
長さ : 約 5.1 m
 重さ : 約 1.5 トン

BWR用新燃料輸送物全体図 (例)

輸送方法

原子燃料の陸上輸送の場合は、トラックまたはトレーラーの前後に伴走車を配置し、隊列を組んで輸送します。各車両には無線機や自動車電話を備え、安全を確認するため先行する車が道路事情

などを事前に把握し輸送隊に連絡するとともに、常に輸送本部と連絡を取り安全を確認しながら輸送します。



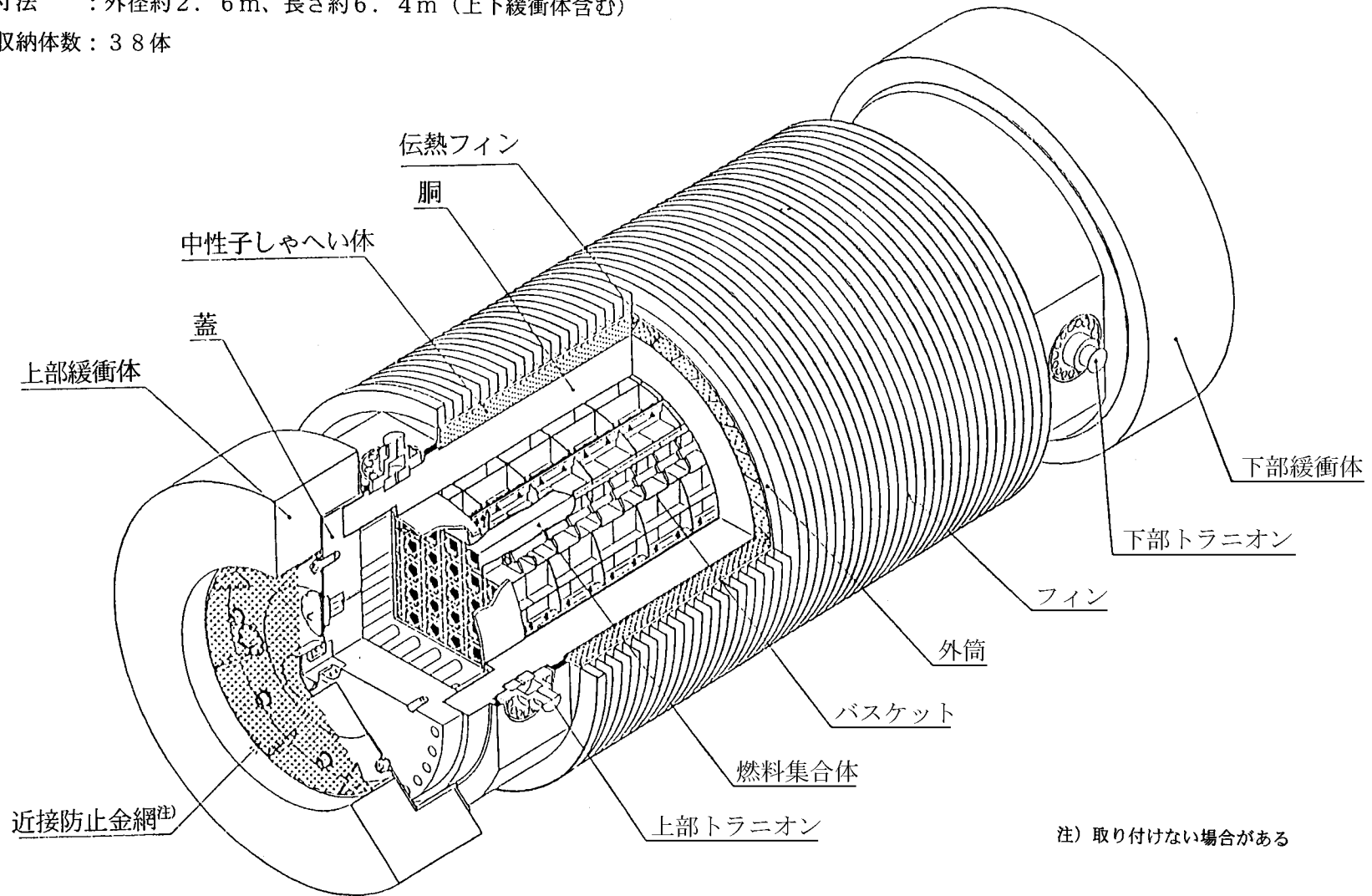
(出典) 電気事業連合会作成パンフレット「原子燃料の輸送（輸送方法と安全対策）」

新燃料輸送隊列（例）

総重量 : 119トン以下

外形寸法 : 外径約2.6m、長さ約6.4m (上下緩衝体含む)

燃料収納体数 : 38体



使用済燃料用輸送物全体図